

ハイブロン SA (遮水工法用熱溶着型改質アスファルト乳剤)

NETIS 登録番号 : SK-140004-VE (ハイブロン工法)

昭和瀝青工業株式会社

概要

ハイブロン SA は、非常に硬質な改質アスファルトを乳化させた遮水工法用熱溶着型改質アスファルト乳剤です。基層面に専用ディストリビュータにて多量に散布(0.8ℓ/㎡以上)することにより厚層のタックコート被膜を形成します。

表層にポーラス混合物を舗設するとアスファルト被膜は熱溶着によりポーラス混合物下部の空隙に充填され、遮水性を有する層を形成して基層を保護します。

分解後はタイヤに付着しにくい為、施工車両が進入してもタックコートが乱されにくいので遮水性が確保されるとともに層構造の一体化や周辺道路の汚れ防止が図れます。

特徴

○0.8ℓ/㎡以上散布することにより、未散布時に比べ透水係数が $10^{-1} \sim 10^{-2} \text{cm/s}$ 小さくなり高い遮水機能を有することができます。(既設基層条件によっては、1.0ℓ/㎡以上の散布を推奨します。)

○表層に加熱混合物を舗設することにより、熱溶着による強い接着力を発現し、合材間のすべりを抑え骨材飛散を抑制します。

○乳剤分解後はタイヤに付着しにくい為、周辺路面を汚しません。

○既設舗装路面のひび割れ部に充填しリフレクションクラックを抑制します。

用途

- 排水性(高機能)舗装における基層保護対策
- 薄層補修(ひび割れ充填による既設基層強化対策)
- 橋面舗装など

注) 散布前に路面上の埃を清掃して下さい。

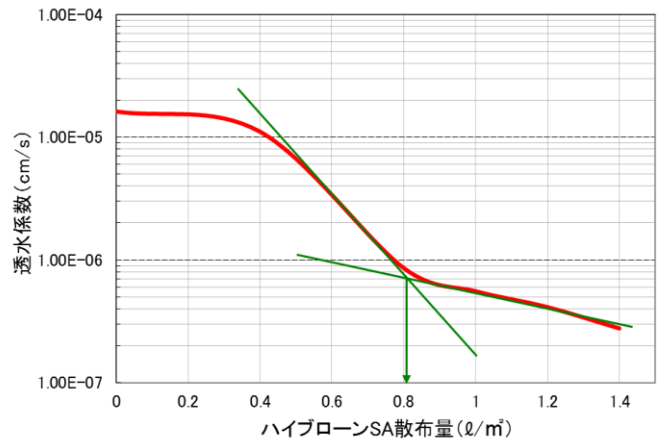
荷姿

- ディストリビュータ(現場散布用)

(散布には、当社の改良ディストリビュータが必要です。)



乳剤のタイヤへの付着と散布状況



乳剤散布量と透水係数の関係



乳剤の混合物下部への充填

ハイブロン SA 製品規格

試験項目	試験方法	代表性状	社内規格
エングラ度 (25℃)	JIS K 2208	1.5	3 ~ 20
フルイ残留分 (1.18mm) %		0.0	0.3 以下
粒子の電荷		陽 (+)	陽 (+)
蒸発残留分 %		6.2	6.0 以上
蒸発残留物	針入度(25℃) 1/10mm	1.0	2.0 以下
	軟化点 ℃	JIS K 2207	63.0
貯蔵安定度 (24 時間) %	JIS K 2208	0.4	1.0 以下